

令和 4年 6月22日

内分泌代謝内科学講座教育・研究組織に関する提言

1. 講座のあり方と方向性

内分泌代謝内科学講座は、糖尿病代謝内科学及び内分泌内科学に関する教育と高度な専門的医療を行い、地域医療に貢献する専門医を養成し、当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのためには、先端的かつ国際的な研究を推進することが求められ、また、人材の確保に努める必要がある。

2. 診療

高度な糖尿病代謝内科及び内分泌内科診療を中心に、他講座等との連携の下に先進的医療を実践することが求められる。

3. 教育

卒前・卒後教育の全ての面で積極的に携わることが求められる。

4. 研究

上記の診療・教育に関連した臨床的、基礎的研究を推進していくことが求められる。

5. 社会活動

地域医療に対して積極的に貢献し、地域の要請にも応えることが求められる。

6. その他

内分泌代謝内科学講座の構成員として第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に、教授には、先進医療施設としての役割を担う附属病院における高度医療の中核となるとともに、講座・診療科の機能充実を果たすことのできる人物が求められる。

内分泌代謝内科学講座教育・研究組織提言委員会

廣田和美（委員長）、大山 力（副委員長）、水上浩哉
鬼島 宏、富田泰史、田坂定智、袴田健一、富山誠彦